

伝統大工コース 入門講座が開講

信州職人学校

県建設労働組合連合

会(松本市)はこのほ
ど、同市寿北の県松本
技術専門学校で、信州職
人学校第2期「伝統大
工(基礎)コース、入
門講座」の開講式を開
いた。県内各地から集
まった14人が、11月ま



での毎週土曜に木造伝
統技能の基礎を学ぶ。

同コースは、中堅大
工を対象に信州の木造
伝統技能の継承と現代
に応用する人材の育成
を目的とし、2009
年に開設された。基礎
コースの翌年には、応
用コースが開かれる。

同労連の関勝執行委
員長(飯山市)は祝辞
の中で、「現場で組み
立てるだけの技能不在
の家づくりが職人の技
能や地位、待遇を低下
させている」と技能継
承の重要性を強調。受
講生代表の湯本大光さ
ん(30、木島平村)は、
県北部地震被災地の栄
村で無傷の古建築を見

た様子を語り、「先人
の技を見た。先人に近
づく努力を惜しまな
い」と宣誓した。写真。

修了者は県知事認定
の技能評価試験を受
け、合格者は「信州伝
統大工」の称号を得る。